

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 骨髄異形成症候群 (MDS) 診断における好中球パラメータの有用性の検討

[当院研究責任者] 部署名 臨床検査部 氏名 武村 友貴

[研究の背景] 自動血球分析装置は、白血球数や赤血球数の他に血液細胞の分画も測定しています。この機器は、臨床には報告されることのない研究項目として細胞構造を数値化しており、これらを用いて形態異常を正確に捉えることでより正確な検査結果を提供できると考えられます。

[研究の目的] 好中球パラメータを用いた形態異常所見の定量化および MDS スクリーニングにおける有用性を検討することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

18 歳以上の 2020 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの間に当院で MDS と診断された方と血液疾患として診断された方。

●研究期間： 公立陶生病院医の倫理審査委員会承認後～2025 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：患者背景、既往歴、年齢、性別、診断名、
検査結果 (WBC、血液像、目視像)

検査システム：XN-3100 の WDF スキャッタグラム、
好中球パラメータ (NEU-SFL、NEU-SSC、WDF-WX、WDF-WY)

●利用する検体、カルテ情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理致します。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 臨床検査部 氏名 武村 友貴

電話 0561-82-5101

内線番号 4111